

岐阜県立加納高等学校

学校長 高田 広彦

学校住所 岐阜市加納南陽町3丁目17番地 電話 058-271-0431

- 1 会議の名称 ゆめ会議かろう（学校評議員会）（第1回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|----|-------|-----------------------|
| 委員 | 佐藤 昌宏 | 元岐阜大学教育学部美術教育講座教授 |
| | 志知 正博 | 加納西自治会連合会副会長 |
| | 中村 規子 | 特別養護老人ホームナーシングケア加納施設長 |
| | 濱田 達之 | MEGAドン・キホーテUNY岐阜店店長 |
| | 吉田 妙子 | P T A副会長 |
- （委員名は五十音順）
- | | | |
|-----|--------|--------|
| 学校側 | 高田 広彦 | 校長 |
| | 大前 幸弘 | 事務部長 |
| | 松野 晶信 | 教頭 |
| | 大平 隆司 | 教頭 |
| | 小枝 千穂 | 教務部長 |
| | 山田 茂雄 | 生徒指導部長 |
| | 篠田 和明 | 総務部長 |
| | 上休場由美子 | 総務部係 |
- 3 会議の目的 本校の学校運営や教育活動等について地域社会や有識者等から幅広く意見を聞き、生徒・保護者等の期待に応えられる開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 新型コロナウイルス感染症対策のため、書面開催
- 5 送付資料 教育指導の重点、昨年度末からの主な取組、年間行事計画、P T Aだより 等
- 6 主なご意見
- 意見 1 教育指導の重点について、人間形成に万全の指針であると感じました。加納高校は進学校で、保護者も学習指導に期待することが大きいと思うので、学習指導の方針において、大学入試対策に重点を置いている点をもっとアピールしてもよいのではないかと。大学入試を視野に入れると、3年間の学習内容を2年半ぐらいで消化して、後は入試対策の時間でも良いのではないかと。また、生徒指導については、学校に多くのことを背負わせる風潮に疑問がある。本来、基本的なことは、家庭が行うべきである。
- 意見 2 コロナウイルス感染防止対策を行いながらの学習指導は大変だったのではないかと。特に、生徒の反応がわかりづらいオンライン授業での授業展開は、戸惑いもあったと思われる。生徒からの質問や、悩み、進路に関する相談などは、どのように対応されたのか。生徒は、学校行事や部活動の公式試合やコンテストが中止になり、

メンタル面での落込みがあると思う。今後は感染症対策を講じながらも、生徒の活動の場を少しでも多く設けていただけたらと思う。

→ 休校中の生徒の学習支援として、本校職員のオンライン授業のほか、プリントで理解度のチェックなどを行った。個々の生徒の質問は、原則学校再開後とした。メンタル面では、正副担任が定期的に電話で連絡を取ったり、メールで「心のアンケート」を行ったりして、生徒の状況把握に努めた。また、希望者には、スクールカウンセラーによる面談を実施している。

意見 3 コロナウイルスの蔓延により、先生方のご苦労は大変なことと思う。特に、学習支援の授業コンテンツ作成は、時間と労力がかかる。岐阜大学では現在も多くの授業で遠隔方式を取り入れている。例えば、美術教育講座ではパワーポイントによる資料を基に講義している。実技の授業では、概要説明後、各自に課題を出してオンライン上で講評をするが、文字情報ではなく画像については実物との乖離があり、わかりづらくて苦慮している。加納高校の美術科や音楽科においても、実技の指導は大変ではないかと思う。しかし、不登校傾向のある生徒にとっては、遠隔授業の方が受け入れやすいとの報道もあり、現状においては大変だと思うが、今後通常授業と併用することで、より充実した支援ができるのではないかと。

意見 4 コロナウイルスの影響で休校期間が長期化し、大学受験を控える生徒の保護者としては、具体的な対策もわからず親子ともに心配と不安を抱えていた。そんな中始まったオンライン授業は、導入当初は画像や音声の不具合があり、効果の面で不安があったが、短い時間で授業を受けることでより集中して取り組むことができていたと思う。また、担任の先生から直接電話を頂き、生活の様子や悩み等を聞いてくださり、不安が和らぎ感謝している。白梅祭が中止になり残念だが、残された行事を、仲間と思いきり楽しんでもらいたいと心から願う。今後も充実した学校生活を送るためにも、手洗い、うがい、マスクの着用、ソーシャルディスタンスなどの感染予防をしっかりと継続していきたい。

意見 5 コロナ渦の中、日々の学校運営に尽力されている先生方に感謝している。学校行事や部活動などが自粛となり、生徒の皆さんの中には気持ちが沈んでおられる方もみえるのではないかと。しかし時間はとても貴重で、特に高校時代の出来事や、友人との会話や学習活動、部活動、生徒会活動等、ともに取り組んだ経験は一生の宝物である。是非、高校生活が楽しく、より充実したものになるよう、積極的に過ごしてほしい。協力できることがあれば、手伝いをさせていただく。

7 職員への報告 各委員よりいただいた貴重なご意見は、職員会議等で周知し、日頃の本校の教育活動に活かしていきたい。次回の「ゆめ会議かろう」（2月開催）では、本校に出向いていただき、在校生の姿や、生徒の作品に触れていただく予定をしている。忌憚のないご意見をお願いしたい。